



独立行政法人国立高等専門学校機構
秋田工業高等専門学校

CAMPUS National Institute of Technology, 2025 Akita College GUIDE

秋田高専は、全国の高専の中で、
風力発電をはじめとした再生可能エネルギーに関する教育を
推進していく学校の一つとなりました。
地域や産業界とも連携して、より地球にやさしい
ものづくりを目指す学校となります。

キャンパスは地球の
未来を考えるエナジニア



アドミッションポリシー

秋田高専の求める学生像

- 01 中学卒業レベルの知識・技能を有し、同等レベルの思考力・判断力・表現力などの能力を身につけている人
- 02 理数系に興味のある人
- 03 新しいことを知りたい、理解したいという学習意欲のある人
- 04 自ら新しいことに取り組むなど、チャレンジ精神旺盛な人
- 05 協働して物事に取り組み、ものづくりに関心のある人



秋田高専はどんなところ？

エンジニアを養成する学校です。

高専の特色 1

卒業時に就職・大学編入・
専攻科進学を
選ぶことができる

高専の特色 1

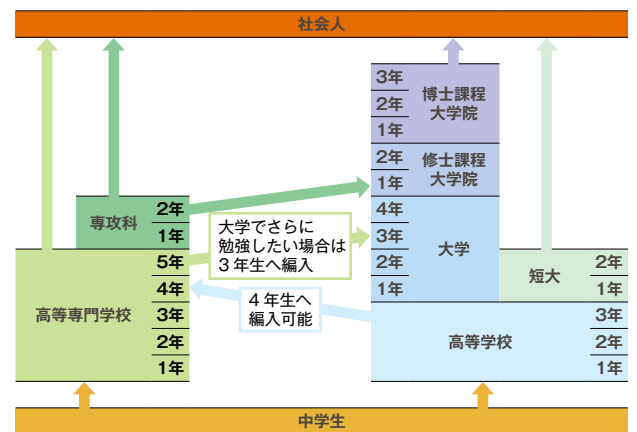
5年間同じ学校で
勉強をする

高専の特色 1

一般科目と
専門科目がある

高専の特色 1

卒業時に準学士の
称号が得られる



一般科目とは 理科や数学、国語や英語、社会や保健体育など普通高校や大学の一般教養と同じような授業です。

専門科目とは 情報基礎や工学概論、基礎工作実習など工学の基礎からさらに専門的な工学の内容を扱う授業や実験・実習・研究などのことです。

秋田高専生の5年間



2年生 4つの系に分かれる

機械系

1年生の時の実習が楽しく、
就職の幅も広がると聞いたから

土木・建築系

親の影響で土木・建築系に
興味を持ったから

物質・生物系

薬や化粧品に興味があり
実験が好きだったから

電気・電子・情報系

中学の時から
情報に興味があったので



工場見学やインターンシップに行きます



秋田高専ではどんなことが勉強できるの？

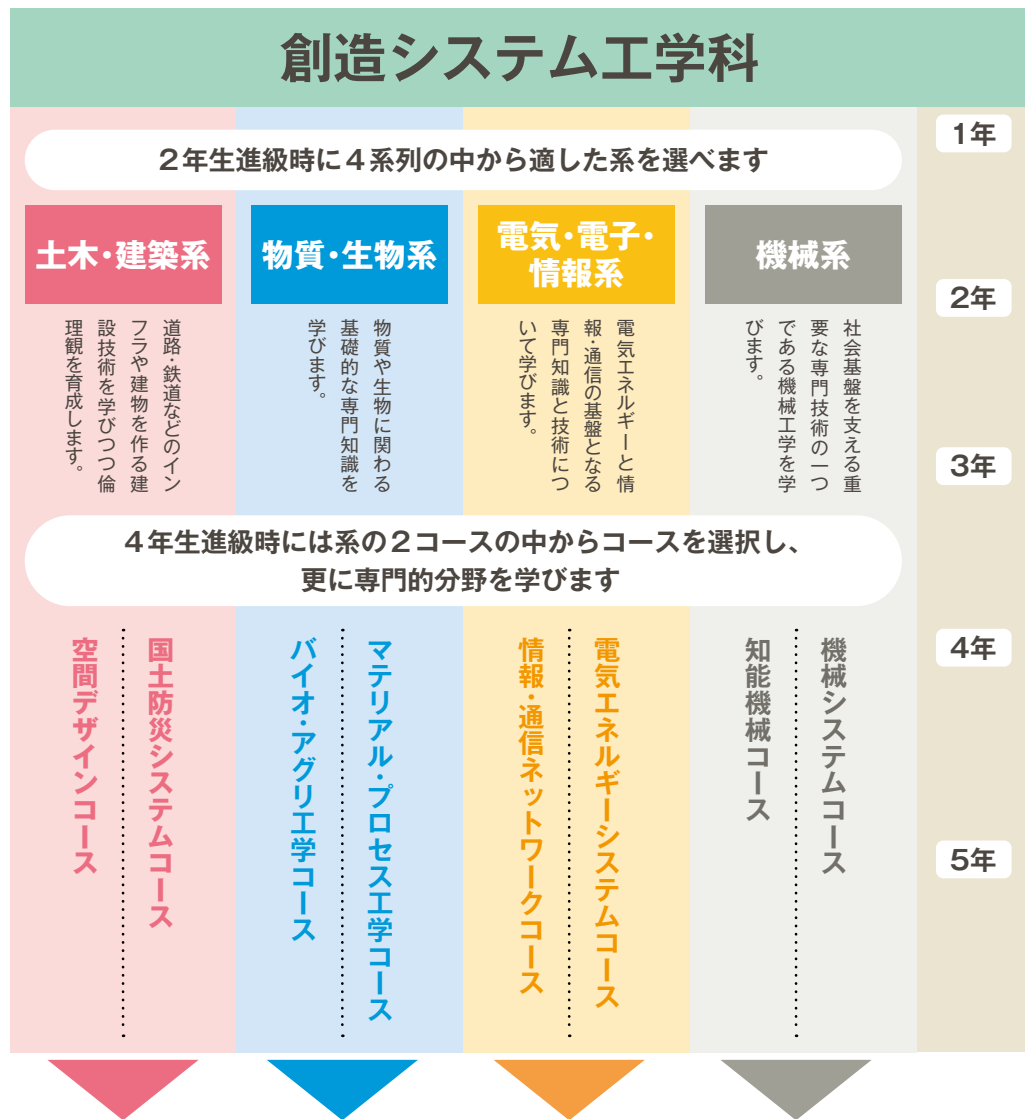
秋田高専は、創造システム工学科という1つの学科です。

1年生の工学概論で、それぞれの専門でどんなことを勉強できるか？を知ってから系を選ぶことができます。

ものづくりや情報教育など、どの系でも共通して必要な科目も1年生で学びます。(→詳しくは P11～12)

2年生から系に分かれて、それぞれ専門的な科目を学び始めます。(→詳しくは P13～20)

4年生からはさらに細分化されたコースに分かれ、それぞれの専門を極めます。同時に、系共通の科目も選択することができ、融合複合分野の基礎知識を習得することができるようになっています

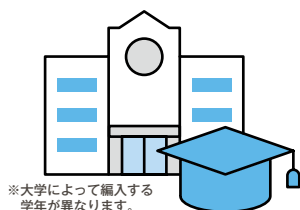


本科 卒業

大学へ
(3年へ編入)

プラス2年間
専攻科

即戦力として
就職



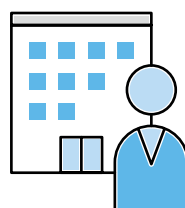
グローバル地域創生工学専攻

機械工学コース

電気情報工学コース

物質工学コース

建設工学コース



CONTENTS

秋田高専は
どんなところ？ **P1**

秋田高専では
どんなことが
勉強できるの？ **P2**

秋田高専の
特徴ある教育とは？ **P3**

在校生からの
メッセージ **P5**

卒業生(就職)からの
メッセージ **P7**

卒業生(進学)からの
メッセージ **P9**

1年生は
こんな感じの
授業です **P11**

機械系 **P13**

電気・電子・情報系 **P15**

物質・生物系 **P17**

土木・建築系 **P19**

専攻科で
学べることは？ **P21**

課外活動も
充実しますよ！ **P23**

1年間の生活は
どんな感じ？ **P25**

充実した施設と
恵まれた環境 **P27**

学生寮と支援制度 **P29**

グローバル教育

グローバル教育

秋田高専は、世界的に進行するグローバル化の波に積極的に対応し、その先端を担うべく、地域・日本・世界に貢献できるグローバルエンジニアの育成を目指し、国際交流を積極的に推進しています。



国際教養大学との連携による集中講義「English Village」の授業風景(2年生, 31名参加)



タイ交流研修におけるタイ高専(KOSEN KMUTT)での授業風景(9名参加)



シンガポール英語研修(3月実施標準コース)の授業風景(30名参加)



シンガポール英語研修(9月実施特訓コース)の最終プレゼン発表風景(2,3年生, 29名参加)



フランスやフィンランドからの短期留学生などとの交流風景



本校で実施した国際交流プログラムの授業風景(1年生, 154名参加)

留学生受入・派遣実績

短期留学生受入実績:4人

(フランス、フィンランド)

令和7年度よりタイ高専の1ヶ月研修を受入れる予定

短期留学派遣実績:77人

(フランス、フィンランド、シンガポール、タイ、台湾)

海外交流協定校:18校

海外との学術交流協定(令和6年度)

フランス	リールA技術短期大学*	アルトワ大学*	ベトゥース技術短期大学*	ランス技術短期大学*	フロア技術短期大学*
	ルアーブル技術短期大学*	リトラル・コート・ドバル技術短期大学*		ヴァラシエンヌ技術短期大学*	
フィンランド	ヘルシンキメトロポリア応用科学大学*	トゥルク応用科学大学*			
ベトナム	中央地域工科経済水資源大学				
モンゴル	モンゴル高専連盟*				
韓国	京東大専校 永進専門大専校				
台湾	大葉大学				
シンガポール	シンガポール・ポリテクニク				
メキシコ	グアナファト大学 グアダハラ大学				

※高専包括協定

その他の取り組み

AI・数理・データサイエンス教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)認定校



令和10年3月31日まで

秋田工業高等専門学校「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」が、文部科学省の「データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」により認定されました。

目的

- 数理・データサイエンス・AI への関心を高め、次の基礎的素養を修得します。
- ▶現代社会におけるデータやAIの利活用に関する知識
 - ▶データを分析した結果から問題等を発見する力

学修支援室

ここでは放課後に先輩から勉強を教えてもらうことができます! もちろん就職や進学の相談、学生生活の相談などもOK。アドバンスドコースでは編入試験の勉強も!



秋田高専グローバル人材育成会

200社を超える県内外企業で構成される「グローバル人材育成会」では、国内外で活躍する人材育成のため、会員企業による様々なキャリア教育を実施しています。



県内定着キャリアプランFes

6月

秋田の企業が集まり、自社の取り組みを説明します。

対象学年 ▶ 3年生・4年生・専攻科1年生

参加した学生の声

- ▶ 県内の企業でも世界に通用する技術が溢れていることがわかった。
- ▶ それぞれの会社でアピールしていた独自の取り組みや特徴を実際に自分の目で見てみたいと思いました。



学生のための業界研究会

10月

全国から企業が集まり、業界や会社の技術力について紹介します。

対象学年 ▶ 3年生

参加した学生の声

- ▶ 複数の会社を比較できたので、自分が会社で本当にしたいことを考えることができた。
- ▶ その企業ごとの雰囲気を知ることができた。



特別キャリア講演

11月

卒業生が仕事のやりがいや大変さについて講演します。

対象学年 ▶ 3年生

参加した学生の声

- ▶ 実際に働いている人の話をきくことができとてもよい経験になりました。
- ▶ 就職したら実際にどんな仕事をするかを聞いて、自分も将来に何をするかイメージを持てるようになりました。



企業による個別面談会

2月

たくさんの企業が仕事内容を紹介します。

対象学年 ▶ 4年生・専攻科1年生

参加した学生の声

- ▶ 就職のイメージが前向きになった。
- ▶ 社会で働く自分の像が明確に見えた。

高専間連携の教育

KIC事業(未来技術・人材の育成・輩出を目的とした高専生向けプロジェクト)等、他の国立高専や企業が提供する授業に参加することもできます。



高専生向けコンテストへの参加

- ◆ WiCON(高専ワイヤレスコンテスト)
 - ◆ DCON(高専生による事業創出コンテスト)
 - ◆ 高専インカレチャレンジ...など
- 高専生向けのコンテストは多数開催されていて、参加することができます！



子供のころから防災について興味があり、特に気象災害から秋田を守る人になりたいと思い入学しました。

入学前は一般科目(特に数学)が難しいと思っていましたが、理解することで工学の分野や日常生活における様々な基礎知識を身に付けることができ楽しく学ぶことができます。更に専門科目では自分の好きな分野について多くの知識を習得することができる他にも実験実習もあるのでチームワークを鍛えることができます。放課後は自学自習に励んだり、部活動に力を入れることができるので充実した時間を過ごすことができます。

秋田高専では勉強や研究、日常生活を楽しむ環境が整っていてとても楽しいです。工学が大好きな人はぜひ、秋田高専で自分の無限の可能性を広げてみませんか？



土木・建築系第4学年
備前 秀
秋田市立泉中学校出身

秋田高専は皆さんが思っているよりも授業が早く終わります。8:50から授業が始まり、15:00には放課後になる日も多いです。そのため自由な時間が多いです。しかし、授業だけで内容が理解できることを期待してはいけません。授業ではわかりやすさよりも深く理解することが優先されているため、わかるまでやる根気強さが必要です。

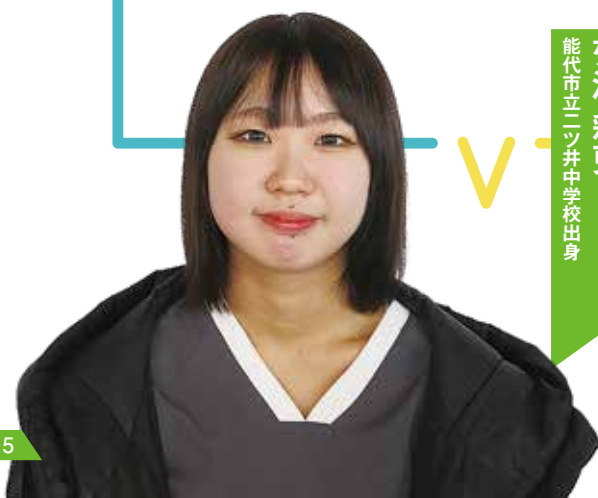
とはいえ、放課後は長いので勉強以外にも部活などしたいことをする時間はあります。自分の夢や目標のために放課後の時間を有意義に使うことが高専生活で大切なことだと思います。



土木・建築系第2学年
林 快尚
秋田市立飯島中学校出身

在校生からのメッセージ

先輩に勧められて、秋田高専の存在を知りました。元々化学に興味があり、早い段階から専門的な内容を学ぶことに魅力を感じて入りました。化学実験では、結果から現象を考察していくことがとても楽しいです。将来は、慣れ親しんだ秋田県内での就職を目指しています。特に金属などの無機材料に興味があり、物質・生物系で学んだ分析技術を活かした仕事をしたいと考えています。実験が多いので、実際に手を動かしながら学べる環境に魅力を感じる皆さんにおすすめです！



物質・生物系第4学年
菊池 彩更
能代市立二ツ井中学校出身

両親に高専のことを教わり、自由度が高い校風である点と、就職率100%という点が決め手となり、入学しました。2年次には、たくさんの化学実験を経験できることに魅力を感じて物質・生物系を選択しました。最初は上手く使うことができなかった様々なガラス器具や装置も、4年生となった今では理解して使えるようになり、入ってから興味を持った希少金属に関連する研究に向けて、楽しく勉強しています。手を動かしながら好きなことを極めたい人、一緒に高専で学びましょう！

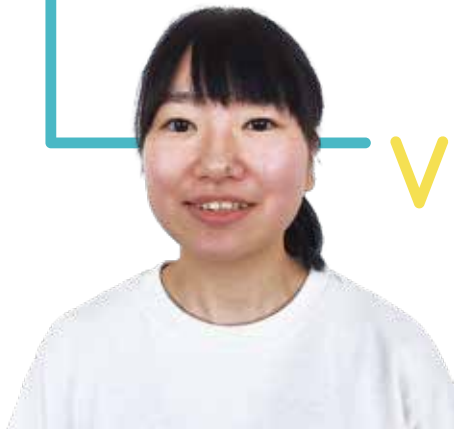


物質・生物系第4学年
筒井 海琉
秋田市立土崎中学校出身

電気系に興味があり、高専では専門的なことを学べるため入学しました。

専門の授業は難しく感じることが多いですが、分からないところは友達に聞いたり、先生に質問したりすることで理解することができました。一回の授業時間は長いですが、その分、すべての授業が終わるのは早く、部活や自習、趣味などに使える時間が多いです。

工学系の勉強がしたい、将来は技術者になりたいという人にはおすすめの学校です。

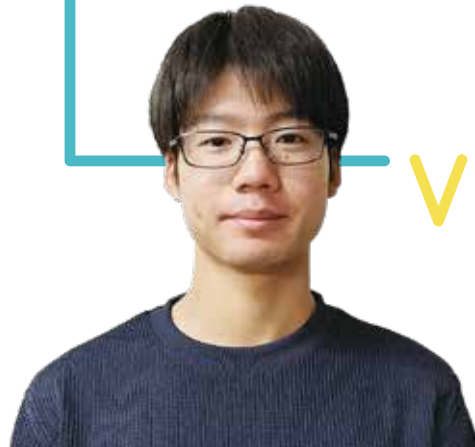


電気・電子・情報系 第5学年
杉山 朱
秋田市立城南中学校出身

車やロボット等を作る仕事に携わりたいと考え受験しました。

勉強がだんだん難しくなり大変ですが、友達や寮の先輩に協力してもらい乗り越えています。趣味のあう人も多く充実した生活を送れると思います。身につけた技術や知識を試すことができる授業もあり、自分の成長を実感できます。留年が多いといわれていますが、コツコツ勉強をしていれば大丈夫だと思います。

専門に興味のある方におすすめです。



機械系 第3学年
大信田 恵二
鹿角市立尾去沢中学校出身

秋田県外からもたくさんの学生が学びにきています！

秋田高専の在校生県内・県外比率

県内学生 86.3% 県外学生 13.7%

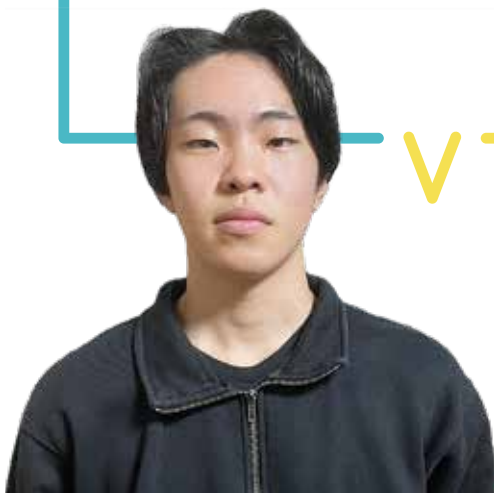
女子学生は全体の24%

およそ4人に1人が女子です！

情報系に興味があり、研究設備や環境が整っているため入学を選びました。

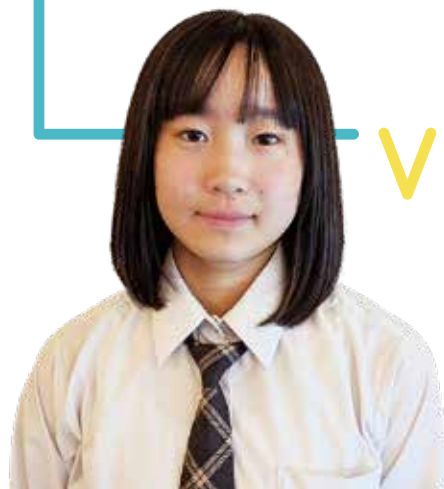
僕は2年生の初めにロボコンに入りました。入って間もなく回路を組み立てたり、プログラムを書いてみたりなど、知識が文字通り0からのスタートでしたが、自分で調べ、先輩から助けを借りてなんとか少しでもロボット製作に携わることができました。まだ僕の知識は乏しいですが、わからなくてもおもしろいです。

部活動も活発で、個性的な人がたくさんいて毎日飽きないため、皆さんに入学をお勧めします！



電気・電子・情報系 第2学年
森川 裕生
秋田市立飯島中学校出身

私は建築に興味があり、将来は建築関係の仕事に就きたいと思って秋田高専に入学しました。地元の高専も考えましたが、寮生活に憧れ、秋田に来た際に食べたきりたんぼ銅の美味しさや、英語教育に力を入れている点に魅力を感じて秋田を選びました。最初は寮生活や勉強に不安がありましたが、美味しい食事と毎日が修学旅行のような楽しい生活で不安は解消されました。勉強も日々の努力で乗り越えられると思います。また、国際交流の機会が充実していて、留学やイベント通じて多文化を体験できる点も大きな魅力です。人脈を広げたい方や、工学、数学が好きな方には最高の学校だと思います！！



創造システム工学科 第1学年
大木 晴楓
埼玉県伊奈町立小針中学校出身

進藤 颯人

出身中学校 秋田市立飯島中学校
在籍コース 土木・建築系
卒業年度 2024年3月
就職先 秋田市役所



今は、秋田市内の建物の審査、検査などの建築の法令に関する業務を行っています。土木や建築に興味があり、高専を志望しました。高専では、幅広い分野に触れ視野を広げることができ、専門分野では、演習などを通して実践的に学ぶことができました。特に印象に残っているのは製図の授業です。建物の設計をする中で知識を吸収しながら、建築の面白さを実感することができました。部活や学校行事も充実していてとてもいい経験になったと思います。工学やものづくりに興味がある方はぜひ志望してみてください。

村上 海翔

出身中学校 秋田市立秋田北中学校
在籍コース 機械系
卒業年度 2024年3月
就職先 DOWAホールディングス株式会社
(DOWAテクノロジー秋田生産技術センター)



現在は秋田製錬の新規建設、設備改善業務を行っています。

秋田高専を選んだ理由は専門的な知識と経験を培うことができるということと就職率100%が魅力的であったためです。高専では社会に出てから役立つ多くの知識と経験、そして4年間クラスと一緒に過ごした心から信頼できる友人を得ることができました。部活動や高専祭などの学校行事も本気で取り組むためおすすめです。ものづくりが好きな方、専門分野で活躍したい方は秋田高専が最高の学び場になると思います。



求人倍率

10.6倍!

就職率

ほぼ100%



システムエンジニアとして、所内の運転操業制御システムの保守作業、および操業データの解析をメインに活動しています。また、最近では所内ネットワーク環境構築などのための勉強(自前でのサーバーの構築)を進めています。

高専生活では、教育実習作業が最も印象に残っています。実際に手を動かし、考え、目標を達成するという体験は他の高校や大学ではなかなかできません。また、実習を実施する際の設備の環境も一般的な大学より優れています。加えて、理系分野(特に電気系や情報系、または数学や物理分野)において、非常にレベルの高い内容を学ぶことができます。

高専は入る前も入ったあとも大変な学校ですが、卒業後はあの時の苦労はまったく無駄ではなかったと振り返るほどに高専で学んだ知識を活用しています。理系分野が得意な方や興味がある方は、ぜひ志望してみてください!

入学後は先輩や同級生、先生方との関係づくりを特に大事にした方がいいです! 趣味や部活動とかからでもいいので、周りと積極的にコミュニケーションを取りましょう。(学校生活だけでなく、就職してから役立ちます。)

石山 龍汰

出身中学校 秋田市立城東中学校
在籍コース 電気情報工学科
卒業年度 2022年3月
就職先 ENEOS株式会社 川崎製油所 制御システムグループ

卒業後、化学メーカーであるDIC株式会社に就職し、プラスチック成形加工を行っています。今はまだ先輩社員の方々から業務を教わり、分からないことが多いですが、原料から製品になった時、すごくやりがいを感じます。また、働く上で必要な資格を習得するための勉強を頑張っています。プライベートでは関東圏内の観光スポットを趣味のドライブで巡っており、仕事とプライベートの両立を大事にしています。

中学生の時に理科・数学が好きで、理系に強い学校に進学したいと思ったことがきっかけです。また、就職率の良さに惹かれ、秋田高専を選びました。

高専時代にバスケットボール部のマネージャーをしており、東北高専大会で優勝し、全国大会に出場できたことが一番印象に残っています。

専門知識を5年間で学び・身に付けることができ、社会に早く出ることが出来る点だと思います。また、就職実績が良いところも魅力だと感じます。

社会人になるとプライベートの時間が少なくなってしまうので、今のうちにやりたいことになんでも挑戦するといいいと思います。また、少しでも高専に興味があったら、オープンキャンパスなどに行ってみてください!



神坂 彩葉

出身中学校 秋田市立山王中学校
在籍コース 物質・生物系
卒業年度 2023年3月
就職先 DIC

主な就職先

機械系

- ▶ サントリープロダクツ(株)
- ▶ レンゴー (株)
- ▶ (株)クレハ
- ▶ 日本ゼオン(株)
- ▶ エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル(株)
- ▶ コスモ工機(株)
- ▶ (株)前川製作所
- ▶ 村田機械(株)
- ▶ マキノジェイ(株)
- ▶ 東北エプソン(株)
- ▶ (株)ミツトヨ
- ▶ 柴田科学(株)
- ▶ 浜松ホトニクス(株)
- ▶ TDK(株)
- ▶ アズビル(株)
- ▶ パナソニックオートモーティブシステムズ(株)
- ▶ (株)ネクスコ・エンジニアリング東北
- ▶ キヤノンマーケティングジャパン(株)
- ▶ (株)牧野技術サービス
- ▶ 東京エレクトロン宮城(株)
- ▶ (株)プレジール
- ▶ (株)日産オートモーティブテクノロジー
- ▶ 三菱電機エンジニアリング(株)
- ▶ (株)タマディック
- ▶ ANAエンジンテクノクス(株)
- ▶ 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株)
- ▶ 東京都下水道サービス(株)

電気・電子・情報系

- ▶ 富士古河E&C(株)
- ▶ ミネベアミツミ(株)
- ▶ TDK(株)
- ▶ SEMITEC(株)
- ▶ 佐島電機(株)
- ▶ (株)オキサイド
- ▶ 東京電力ホールディングス(株)
- ▶ (株)エヌ・ティ・ティエムイー
- ▶ (株)クリエイティブキャスト
- ▶ アステック(株)
- ▶ 富士ソフト(株)
- ▶ (株)アイ・エス・ビー
- ▶ NTTコム
- ▶ エンジニアリング(株)
- ▶ 東海旅客鉄道(株)
- ▶ コニカミノルタジャパン(株)
- ▶ (株)ハムシステム庄内
- ▶ (株)サードウェーブ
- ▶ (株)富士テクノソリューションズ
- ▶ (株)テクノプロ
- ▶ (株)日立パワーソリューションズ
- ▶ (株)NTT東日本ー東北
- ▶ 浜松ホトニクス(株)
- ▶ 東北電力(株)
- ▶ NTTコムソリューションズ(株)
- ▶ 横河ソリューションサービス(株)

物質・生物系

- ▶ (株)INPEX
- ▶ 雪印メグミルク(株)
- ▶ 三菱商事ライフサイエンス(株)
- ▶ 東レ(株)
- ▶ 大阪シーリング印刷(株)
- ▶ (株)丸善石油化学(株)
- ▶ 三井化学(株)
- ▶ 大日精化工業(株)
- ▶ 日本ゼオン(株)
- ▶ DIC(株)
- ▶ アルフレッサファインケミカル(株)
- ▶ 東亜石油(株)
- ▶ DOWAホールディングス(株)
- ▶ 田中貴金属工業(株)
- ▶ 秋田市役所
- ▶ 三菱瓦斯化学(株)
- ▶ 日本乳化剤(株)
- ▶ 第一三共ケミカルファーマ(株)
- ▶ アルフレッサファインケミカル(株)
- ▶ シミックCMO(株)
- ▶ 積水メディカル(株)
- ▶ 第一三共プロファーマ(株)
- ▶ 関東化学(株)
- ▶ ENEOS(株)
- ▶ 富士石油(株)
- ▶ タマポリ(株)

土木・建築系

- ▶ 第一建設工業(株)
- ▶ 大日本土木(株)
- ▶ 五洋建設(株)
- ▶ 佐藤工業(株)
- ▶ 若築建設(株)
- ▶ (株)フジタ
- ▶ 極東興和(株)
- ▶ 日特建設(株)
- ▶ 小野田ケミコ(株)
- ▶ 東レ建設(株)
- ▶ (株)コラボハウス
- ▶ (株)大阪防水建設社
- ▶ シンヨー (株)
- ▶ (株)J-POWERハイテック
- ▶ メタウォーター (株)
- ▶ (株)ホクエツ関東
- ▶ アイリスオーヤマ(株)
- ▶ 東京電力ホールディングス(株)
- ▶ (株)エヌ・ティ・ティエムイー
- ▶ 東北電力(株)
- ▶ (株)ネクスコ・エンジニアリング東北
- ▶ (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- ▶ (株)測地コンサルタント
- ▶ 協和設計(株)
- ▶ 国土防災技術(株)
- ▶ 東京水道(株)
- ▶ 東京都下水道サービス(株)
- ▶ wking(株)

専攻科

- ▶ 鹿島建設(株)
- ▶ (株)ユアテック
- ▶ 東邦化学工業(株)
- ▶ 第一三共プロファーマ(株)
- ▶ 住友金属鉱山(株)
- ▶ 横河ソリューションサービス(株)
- ▶ (株)日水コン
- ▶ (株)日産オートモーティブテクノロジー
- ▶ 三菱電機エンジニアリング(株)
- ▶ 日本オーチス・エレベータ(株)
- ▶ 秋田県庁
- ▶ TDK(株)
- ▶ (株)NTT東日本ー東北

企業からみた高専生の強み

印刷インキを始め、有機顔料、機能性樹脂など化学製品に関わるリーディングカンパニーとして、世界の60を超える国と地域でグローバルに事業を展開する化学メーカーのDICは、特にものづくりの現場で高専生の力を必要としています。高専で培った高度な工学的知識をベースとして、製造プロセスの合理化、プラント設計・建設、品質管理など高専出身者の業務は多岐にわたります。

高専生の強みとしてまず挙げられるのは、専門知識の深さと技術力です。専門分野に特化したカリキュラムの中で、理論と実践の両方をしっかりと学んでいるため、自分で考え、仮説に基づき具体的な計画をたてて行動する現場の対応力が身についていると感じています。

また、日々の実験や実習を通して、さまざまな課題に直面した時の問題解決力や人を巻き込む力に長けた方が多いと思います。社会に出ると一人では解決できない問題にチームで立ち向かうことも必要ですが、そんなときに高専出身者がチームにいと心強いです。

さらに近年より重要になってきている学ぶスキルも高専出身者には身につけていると感じます。変わりゆく社会の中で、新しい知識や発想を取り入れることは、社会人として成長し、会社や社会に貢献するために欠かせません。中学卒業後から一流の工学者に学ぶ環境のある高専は、「学び続ける」ことを身につける絶好の場なのでしょう。

そんな知識、技術力、問題解決や学ぶスキルに長けた高専出身者は弊社で大活躍しています。特に秋田高専出身者は30名以上が在籍しており、若いうちから管理職に就いている社員や役員登用事例もあります。みなさんも高専で学び、新しい技術の発展や発想に貢献してくれることを期待します。



DIC株式会社

総務人事部 採用・研修グループ
マネージャー

佐藤 薫

現在、大学院進学を目指し、高専で培った知識と技術を活かして粉体の挙動や反応装置のスケールアップなど、化学工学について学んでいます。

秋田高専を選んだ理由は、実験を多く経験できること、そして卒業後の進路の選択肢が広いことに魅力を感じたからです。実際に、さまざまな実験を通じて専門的な知識やスキルを身につけることができました。また、推薦制度を活用して大学への編入も果たしました。

高専生活で特に思い出に残っているのは、5年生の卒業研究です。実験手法や機器の扱い方だけでなく、研究に対する姿勢も指導していただきました。今でもその教えを基礎に、勉学に励んでいます。

高専は、将来の選択肢を広げる場として非常に魅力的な環境だと感じています。5年間かけて専門分野をじっくり学びながら、自分の進路について考える時間を確保できる点も大きなメリットです。自分の可能性を広げたいと考えている人は、ぜひ高専への進学を検討してみてください。



佐藤 龍太

出身中学校 能代市立能代南中学校

在籍コース 物質・生物系

卒業年度 2024年3月

現在の所属 新潟大学 工学部 化学システム工学プログラム 在学中

現在、私は学部3年生で単位修得をしながら大学生活を楽しんでいます。

私が、秋田高専を選んだきっかけは理数系が得意で、部活動も充実しており、自由な校風だったからです。私自身は高専入学当初に興味のある分野というのはありませんでしたが、1年生の頃は全員が同じ学科で2年生から各学科に別れるので、自分にとってどの分野がいいかを時間をかけて考えることができました。

高専生活を通して思い出に残っていることは、高専大会です。高専大会というのは全国の高専のみで行われる大会で、私はサッカー部に所属しており、日々それに向けて練習に励み、東北大会を勝ち上がって仲間と共に全国大会に出れたことは1番の思い出です。

私が思う高専の魅力は、進学・就職に強いこと、専門的な知識を学べること、やりたいことができる環境ということだと思います。まず、進学・就職において、進学では、自分が普通高校から大学へ行く場合に非常に難しい大学でも高専なら行ける可能性が大いにあります。就職においてはみなさんが知っているような企業に誰でも入ることができ、先生方も一人一人サポートして推薦などをしてくださるので進路については何も問題はないと思います。次に、専門的な知識においては、私が今大学生活をしている上で、勉強についていくことに困ったことはなく、むしろ余裕が生まれるくらい高専での知識・経験が活かしているので、大学生活への不安もありません。そして、高専では春休みと夏休みがとても長く、自分のやりたいことに挑戦できる時間が多くできると思うのでその期間に遊ぶもよし、勉強するもよしという自由な環境です。

高専は5年間もあり、4年間同じクラスのため、一緒に勉強やレポート、研究をしていく上で仲も深まり、一生の友達もできると思います。私も、今でも連絡を取り合っている友達がいいます。在学中の勉強が大変ということを除けば、教育環境、進路、人間関係のどれをとってもいい学校だと思いますのでぜひ高専への入学待っています！

夏井 倖郎

出身中学校 秋田市立泉中学校

在籍コース 電気・電子・情報系

卒業年度 2024年3月

現在の所属 東北大学 電気情報理工学科 電気工学コース 在学中

さらなる高みを目指して

私の仕事は、建設コンサルタントという職種の中でも「水」に係る事業(下水、水道、河川等)に特化した建設コンサルタントであり、計画や調査といった業務に携わらせていただいております。

学生の頃の私は進路についてよく悩んでおり、自分に本当に向いている仕事は何なのか?ということは何度も高専の先生方に相談していました。その中で現在の職種・就職先に出会い、日々成長を感じながら働かせてもらっている毎日です。

私が思う人生において重要なことは、「何事にも全力で取り組むこと」です。学生と社会人の大きな違いは「自由」であるかどうかだと思います。学ぶも遊ぶも自由です。そして、自由な時間はあっという間に過ぎてしまいます。そんな貴重で重要な時間をどのように過ごすか。どうせやるなら全力で。こういう考え方も悪くないと思います。

私としては、皆様の学生時代が、中途半端ではなく、学びも遊びも全力で取り組んだ思い出の濃いものとなることを願っています。その結果は後で分かります。。。(私は最高の学生時代でした！)



佐々木 輪

出身中学校 秋田市立土崎中学校

在籍コース グローバル地域創成工学専攻建設工学コース

修了年度 2023年3月

現在の所属 株式会社日水コン

現在、株式会社東北芝浦電子FA課に所属し、製造装置の設計・製作に携わっています。専攻科の特別研究では、半導体ウエハの精密加工に関する研究に取り組みました。研究では計画的・継続的に物事を進めることを頑張りました。例えば、最適な加工条件を見つけるために、毎日研究室で実験を行っていました。実験がうまく進まないときは、原因について何度も試行錯誤することもありました。また、学会に

参加するときには、講演に関する資料の提出期限が決められるため、実験データのまとめと考察を行いながら発表資料を計画的に準備する必要がありました。このような研究活動を通して計画的・継続的に取り組む基礎を作ることができ、今の業務に直接役立っていることから、頑張ったと思っています。学生時代にこのような濃い経験を積むことができるのは、5、7年間同じ環境で学ぶことのメリットだと思います。高専入学を迷っている方はぜひ検討してみてください！



小野 夏美

出身中学校 秋田市立秋田北中学校

在籍コース グローバル地域創成工学専攻 機械工学コース

修了年度 2024年3月

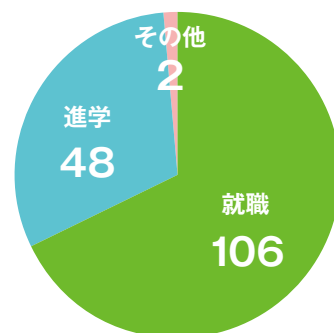
現在の所属 株式会社東北芝浦電子

進学実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計
秋田高専専攻科	16	25	17	18	17	93
仙台高専専攻科		1	2			3
北海道大学	2		1	2	1	6
北見工業大学			1			1
室蘭工業大学					1	1
弘前大学		1		1		2
岩手大学			1	1		2
東北大学	3	2	1	3		9
東北工業大学			1			1
秋田大学	5	9	6	2	5	27
秋田県立大学	2	1	1		1	5
筑波大学		3				3
千葉大学	1	4	1	2	1	9
東京農工大学	4		1		1	6
電気通信大学	1					1
工学院大学		1			1	2
日本大学			1			1
横浜国立大学					1	1
新潟大学		4	6	4	2	16
長岡技術科学大学	3	4	4	8	8	27
金沢大学	1	1				2
山梨大学					1	1
信州大学					1	1
豊橋技術科学大学	3	3	7	4	5	22
京都工芸繊維大学					1	1
広島大学	1					1
九州大学			1			1

本科卒業生の進路

学修支援室で先輩に相談もできます！
講演会、業界研究、インターンシップや
工場見学で進路を決めることができます！

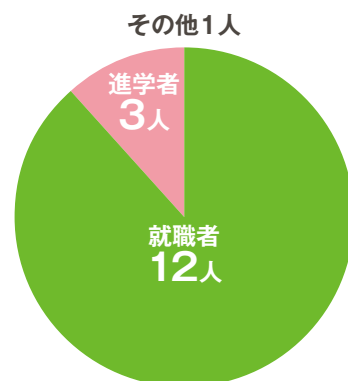


(令和7年3月 本科卒業)

専攻科卒業生の主な進学先

- ▶ 秋田大学大学院 ▶ 東北大学大学院
- ▶ 長岡技術科学大学大学院
- ▶ 東京科学大学大学院
- ▶ 電気通信大学大学院 ▶ 茨城大学大学院

専攻科修了生の進路



(令和7年度 専攻科修了)

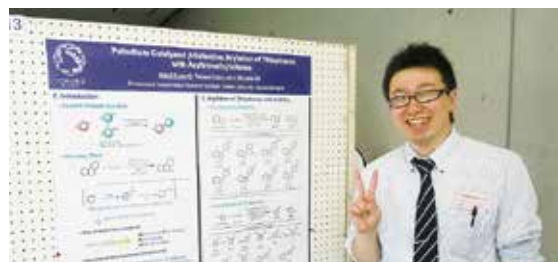
大学の先生の視点

高専生に期待すること

高専の特徴が(直接的な)社会貢献を目的とした実践教育にあり、現代社会の産業を支える上での大きな強みとなっていることは間違いありません。私自身、3年前まで大学の工学部に籍を置いていた関係上、実践教育の重要性は理解しています。しかし、工学部の応用研究であっても、数学や物理学など大学1、2年で学ぶ基礎科目がいかに重要であることを痛感しており、学生にもそのことを強調してきました。近年目まぐるしく発展する科学技術の担い手やそれらを駆使する技術者も結局頼るところは基礎科学であることを感じているはず。"それなら高専ではなく大学"という選択肢もありますが、最近の大学は専ら先端の研究業績に目が向いているため、現場の技術からは距離があります。幸い、高専では現場の実践教育に加えて、低学年の早い段階から大学レベルの基礎科目を学びます。このような教育システムで育まれた学生は、将来どのような技術の変化にも対応できるタフな技術者になれると大いに期待しています。今年、AI関連でノーベル賞を受賞したホップフィールド氏は古くから知られた物理学者です。技術は先端に行くほど基礎力が重要になっていくことを忘れないでください。

東北大学
大学院工学研究科
名誉教授

佐久間 昭正



本校卒業生が学会でポスター発表

1年生はこんな感じの授業です

一般科目教育課程

1年生は一般科目を担当している教員が担任をします。最初は広い構内で迷子になったり、1コマ90分の授業にびっくりしたりするかもしれませんがすぐに慣れます。

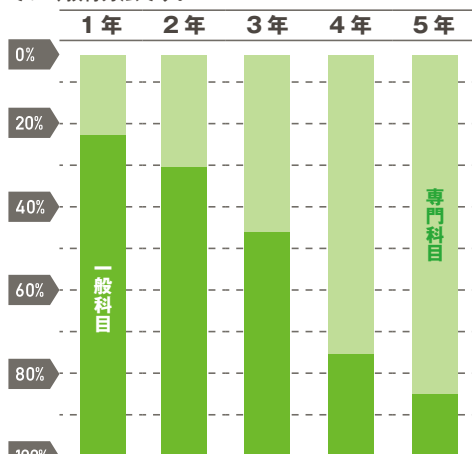
特別活動の一部を活用して初年次教育を実施しています。自分の特徴を知って適切な勉強方法を知ったり、コミュニケーションの手法を学んだり、ワークショップを体験したりします。



一般科目と専門科目の学年別比較

くさび形教育となっています。

くさび形教育とは、1年生から専門科目を少しずつ増やしていく教育方法です。



上のグラフは電気エネルギーシステムコースを例としています。(選択科目は除く。)

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生
国語			日本語表現	
公共社会		科学技術史		技術者論理
	地理	人類史	国外事情*	特別講義*
基礎数学	微分積分			
	線形代数	確率・統計	微分方程式	
化学			品質管理概論*	
	物理			
	芸術	〈音楽・芸術〉		
英語				
		英語 LL 演習	総合英語	
		英語会話		上級英語*
保健体育				スポーツ科学

※は選択科目



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10

1年生の活動風景

- ① 特別活動 (初年次教育)
- ② 外部講師によるワークショップ
- ③ 英語の授業
- ④ 数学の授業
- ⑤ 保健体育の授業
- ⑥ 1年生の4月につくった高専のイメージ

2年生の活動風景

- ⑦ 物理の授業
- ⑧ 数学の授業

4年生の活動風景

- ⑨ 英語の授業
- ⑩ 数学の授業

		月	火	水	木	金
1	8:50 ~ 9:35	英語 I B	国語 I B	英語 I A	情報基礎	数学 I A
2	9:35 ~ 10:20					
3	10:30 ~ 11:15	公共社会 I	基礎 工作実習	工学概論	国語 I A	化学 I
4	11:15 ~ 12:00					
昼休み						
5	12:50 ~ 13:35	数学 I A	化学 I	数学 I B	保健体育 I	英語 I A
6	13:35 ~ 14:20					
7	14:30 ~ 15:15	1 年 英語ゼミ	特別活動	1 年 数学ゼミ		
8	15:15 ~ 16:00					



※数学は高校と勉強する順番が違います



機械系

機械系では「モノ造り」が大好きで、将来も「モノ造り」で人々の役に立つ仕事をしたいと考えている学生が勉強しています。



“モノ造り”の感性を極め、自らのアイデアと技術で

未来の生活を豊かにしよう！

機械システムコース

環境に優しい自動車や航空機、そして風量などの新しいエネルギーによる発電システムなど機械工学の技術は非常に幅広い分野で必要とされています。将来は、社会の様々な分野で活躍できる知識と素晴らしい感性をもった機械エンジニアを目指します。

知能機械コース

人々の健康と幸福に貢献するため、今後ますます医療と福祉の分野で機械工学との連携が必要となってきます。将来は、医療・福祉の現場のニーズに対応できる機械エンジニアを目指します。

カリキュラム

●ワークショップ

- ▶基礎工作実習
- ▶機械製図
- ▶機械工作実習
- ▶機械工作方
- ▶機械設計
- ▶創造設計制作
- ▶設計製図
- ▶工学実験

●ICT

- ▶情報基礎
- ▶情報処理
- ▶電気工学
- ▶基礎電子工学
- ▶コンピュータ製図

●機械システム

- ▶機械力学
- ▶金属材料学
- ▶材料力学
- ▶流体工学
- ▶熱力学
- ▶計算力学
- ▶応用流体システム工学

●知能機械

- ▶制御工学
- ▶応用電子工学
- ▶医療福祉工学
- ▶ロボット工学
- ▶先端材料学
- ▶バイオメカニクス



- ① MR技術を使って上肢リハビリ実験
- ② スノーボード中の視線を計測
- ③ ただ今、ロボットの設計中
- ④ 医療機械の評価実験中
- ⑤ 俺は旋盤の職人だ！
- ⑥ 人間の動作解析の研究中
- ⑦ 設計図面と格闘中

時間割 ▶ 機械系3年生の場合

	月	火	水	木	金
1 8:50~9:35	機械力学Ⅰ	科学技術史Ⅰ	機械設計	数学ⅢB	保健体育Ⅲ
2 9:35~10:20					
3 10:30~11:15	人類史	数学ⅢA	応用物理Ⅰ	英語Ⅲ	国語Ⅲ
4 11:15~12:00					
昼休み					
5 12:50~13:35	英語会話	物理Ⅱ	機械製図Ⅱ	機械工作実習Ⅱ	基礎電子工学
6 13:35~14:20					
7 14:30~15:15			特別活動		
8 15:15~16:00					

将来何になれる？

現代社会を支えるエンジニアリングの中でも機械は、幅広い分野で必要とされています。機械系では、それらの技術者や研究者、後方支援する行政職を育成しています。

- ▶ 生産エンジニア
- ▶ 製造エンジニア
- ▶ 機械設計エンジニア
- ▶ システムエンジニア

▼就職先(一例)

- ▶ 自動車・鉄道
トヨタ、ホンダ、ニッサン、スバル
- ▶ 半導体
TDK、キャノン、ニコン、東京エレクトロン
- ▶ 化学・エネルギー
ENEOS、日東電工、ヤンマーエネルギー
など機械系以外でも多岐にわたる業界へ就職しています。

▼進学先(一例)

北海道大学、東北大学、秋田大学
秋田県立大学、筑波大学、長岡技術科学大学
豊橋技術科学大学、専攻科

- ▶ 公務員
- ▶ 研究者

進学後は、大学院博士前期課程に進んだのち、企業へ就職または博士後期課程に進学し、研究者、教員になる学生もいます。

研究紹介

機械系
機械システムコース 櫻田研究室

准教授 櫻田 陽

NC工作機械制御、マイクロモビリティによる自立制御、画像処理技術、アシストロボットなど、機械系制御関連の研究室です。



キーワードは、「豊富になった計算機パワーをいかに有効利用し高い制御性能を得るか？」という終わりのないテーマに挑戦中。プログラムだけの研究ではなく実際にものを動かしたいという意欲的な方を求めています。ぜひ、遊びに来てね！

電気・電子・情報系

電気・電子・情報系では将来、電力関係や情報システムに関わる仕事をしたいと考えている学生が勉強しています。



エレクトロニクス、コンピュータ、ソフトウェア分野の
スペシャリストになろう！

電気エネルギーシステムコース

新しい電子材料やデバイスを作り出し、電子回路及びエレクトロニクスデバイス、電気回路、電気エネルギー、電気―機械変換等の社会生活の基盤となる電気エネルギーの発生とそれを利用した電気電子制御技術による機器とシステムに関する専門知識と技術を学びます。

情報・通信ネットワークコース

ソフトウェア技術を中心としたコンピュータや有線・無線通信等の高度情報化社会の基盤となる情報処理と通信技術、ソフトウェア技術に関する専門知識と技術を学びます。

カリキュラム

●共通科目

- ▶ 電気計測、電気回路Ⅰ、電気回路Ⅱ、回路網理論
- ▶ 基礎電気磁気学、電気磁気学、電子回路
- ▶ 電子デバイス工学、電気機器学、半導体工学
- ▶ 情報処理応用、コンピュータ基礎、応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ
- ▶ 基礎工学実験、電気情報基礎実験、電気情報校工学実験 等

●電気エネルギーシステムコース

- ▶ 制御システム工学、電力工学、ロボット工学、物性工学
- ▶ センサ工学 等

●情報通信ネットワークコース

- ▶ アルゴリズム基礎論、情報ネットワーク概論、離散数基礎
- ▶ ソフトウェア工学 等



1



2



3



4



5



6



7

- ① ブラシレスDCモータの特性測定(受託事業)
- ② 回折光学素子の制作(卒業研究)
- ③ 制御実験(5年生の電気情報工学実験)
- ④ フリップフロップ(4年生の電気情報工学実験)
- ⑤ 単相インバータ(4年生の電気情報工学実験)
- ⑥ 低抵抗の測定(2年生の基礎工学実験)
- ⑦ プレゼンテーション(2年生の基礎工学実験)

時間割 ▶ 電気・電子・情報系4年生の場合 情報・通信ネットワークコース

月		火		水		木		金	
1	8:50～9:35	科学技術史Ⅱ	電気磁気学	アルゴリズム 基礎論	英語Ⅳ	情報ネットワーク 概論	昼休み		
2	9:35～10:20								
3	10:30～11:15	応用物理Ⅱ B	基礎研究	日本語表現	電気機械変換工学	回路網理論			
4	11:15～12:00								
5	12:50～13:35	総合英語Ⅰ	応用数学Ⅰ	特別講義Ⅲ	半導体工学	電気情報工学実験 Ⅰ			
6	13:35～14:20								
7	14:30～15:15	【複合科目】 機械システム概論 電気材料工学概論 応用化学概論 環境工学概論	補講	補講	補講	補講			
8	15:15～16:00								

将来何になれる？

▼取得できる資格等

電気工事士、工事担任者、電気主任技術者
ITパスポート、基本情報処理技術者
陸上無線技術士 等

▼就職できる業界

電力、建設、通信、石油化学、医療機器関連
電気電子部品、上下水道関連、航空機関連
造船、電気メカ、ソフトウェア関連
ITシステム関連 他

▼卒業後の主な職種

生産技術、品質管理、技術営業、製品開発
研究開発、プラント設計、プラント運転員
システムエンジニア、プログラマー
Webデザイナー、ネットワークエンジニア 等
◎在学中及び卒業後に起業した事例あり。

▼進学先

秋田高専専攻科、東北大学、千葉大学、新潟大学、
岩手大学、秋田大学、長岡技術科学大学、豊橋技術
科学大学、等の工学部(電気系及び情報系学科)

研究紹介

電気・電子・情報系 情報・通信ネットワークコース

講師 野村 政宗

本研究室では、主に、電磁界環境に人体が曝露された場合を想定した数値解析の高精度化・高速化に関する研究を行っています。本研究で用いる解剖学的数値人体モデルは1辺2mmのボックスセルで人体を近似しており、その大規模で複雑な構造から、数値解析には計算時間がかかります。また、ボックスセルで近似するため皮膚や骨などの境界は階段状で近似される精度誤差を持ちます。これらの諸問題を解決するため本研究では様々な手法を応用して、計算時間短縮・精度改善を行います。



もちろん、本研究室では、電磁界だけでなく、構造・音響等に関する数値解析に関する研究も行っており、分野に囚われず幅広い視点で研究を行っています。本研究に主に必要なプログラミング言語はC言語、C++言語などですが、本研究でしっかりと指導を行っていくので初心者でも大歓迎です。本研究を通して、数字が織りなす物理現象の美しい世界を楽しんでいきましょう！！

物質・生物系

医薬、化粧品、植物・酵素、新エネルギー材料など、生活を支える身近な生物・化学に関する研究・開発がしたい学生が勉強しています。



医薬、化粧品、植物・酵素、新エネルギー材料を
生物・化学のチカラで研究開発！

マテリアル・プロセス工学コース

【Keyword】新エネルギー材料の研究・開発、化粧品材料の研究・開発など化粧品に応用できる新しい結晶合成法や、新エネルギー材料の開発など、10億分の1mの領域まで踏み込んだ知識と技術を使い、これまでにない製品の開発から大量生産における課題解決まで、幅広く取り組んでいます。

バイオ・アグリ工学コース

【Keyword】医薬品の研究・開発、植物・酵素の研究・開発など微生物を利用した医薬品の薬効成分の生産や、食品の味や香りのもとになる成分の分析・合成など、生物や遺伝子の知識と技術を使って、医薬品、食品、医療機器、農業、環境などの分野へ応用すべく取り組んでいます。

カリキュラム

●講義科目 マテリアル・プロセス工学分野

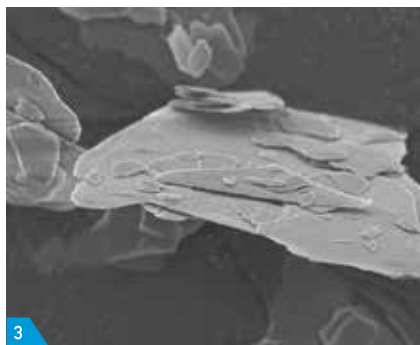
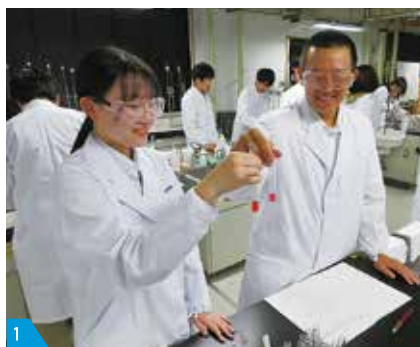
- ▶ 分析化学
- ▶ 無機化学、無機材料化学、物理化学
- ▶ 有機化学、有機合成化学、高分子化学
- ▶ 化学工学、反応工学、エネルギープロセス工学 etc.

●講義科目 バイオ・アグリ工学分野

- ▶ 生物化学、分子生物学、生物有機化学
- ▶ 発酵醸造学、生物化学工学、環境材料工学
- ▶ 天然物化学、アグリサイエンス、バイオ工学 etc

●実験・実習

- ▶ [2年] 総合化学実験、分析化学実験
- ▶ [3年] 有機化学実験、生物工学実験
- ▶ [4年] エンジニアリング化学実験(物理化学) プロセスデザイン実験(化学工学)



- ① 実験では集中力と観察力が大事(分析化学実験)
- ② 振盪培養されるシアノバクテリアさん達 (卒業研究)
- ③ ファンデや泥パックの粒子を高分解能の電子顕微鏡で見てみると・・・板？(基礎研究)
- ④ 上手に合成できたかな(有機化学実験)
- ⑤ 3F建てのミニプラントでアルコールを連続蒸留。メタノールは飲めませんよ！(エンジニアリング化学実験)
- ⑥ X線を利用した結晶構造解析法を勉強中！研究で使うよ！(基礎研究)
- ⑦ pHと指示薬の関係を知ろう！(総合化学実験)

時間割 ▶ 物質・生物系5年生の場合

バイオ・アグリ工学コース

	月	火	水	木	金
1 8:50 ~ 9:35	生態工学	高分子化学 or 発酵醸造学	応用数学Ⅲ	アグリサイエンス	有機合成化学Ⅱ
2 9:35 ~ 10:20					
3 10:30 ~ 11:15	卒業研究	総合英語Ⅱ	バイオ工学	マテリアル・マテリアル工業化学Ⅰ or 工業化学Ⅱ	マテリアルサイエンス
4 11:15 ~ 12:00					
昼休み					
5 12:50 ~ 13:35	高分子材料	エネルギープロセス or 環境複合材料	スポーツ科学Ⅱ	特別講義Ⅰ	卒業研究
6 13:35 ~ 14:20					
7 14:30 ~ 15:15	複合科目 機械システム概論 電気材料工学概論 応用化学概論 環境工学概論	補講	補講	技術者倫理	補講
8 15:15 ~ 16:00					

将来何になれる？

私たちの生活を支えている医薬品や化粧品、化学用品、食品、電子材料、石油、エネルギーなど、生物・化学が関係する幅広い分野で、技術者や研究者となって活躍します。

▼幅広い就職先(一例)

▶ 化学分野

花王、旭化成、関東化学、三井化学、三菱ガス化学、日東電工、東邦化学工業、日本乳化剤、タマポリ

▶ 食品分野

サントリー、森永乳業、三菱商事ライフサイエンス

▶ 医薬品・化粧品・色材

アルフレッサファインケミカル、ニプロ第一三共、シミックCMO、大日精化工業DIC、インターフェイス

▶ エネルギー・石油

ENEOS、丸善石油化学、コスモ石油

▶ 無機・エレクトロニクス

住友金属鉱山、田中貴金属工業、東電化工業半導体エネルギー研究所、東北エプソン

▶ プラント

千代田エクスワンエンジニアリング

※卒業生は、製造職、生産技術職、品質管理(分析)職、研究・開発職などの仕事に就き、活躍しています。

▼進学(大学3年次への編入学)

東京農工大学、電気通信大学、千葉大学、新潟大学、東北大学、金沢大学、群馬大学、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学、秋田大学、専攻科など

※進学後は、大学院の修士課程に進んだのちに、企業へ就職するほか、博士課程に進学する学生もいます。

研究紹介

物質・生物系
マテリアル・プロセス工学コース

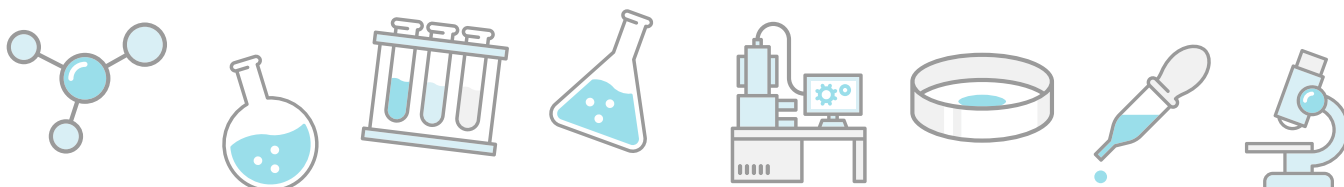
准教授 博士(工学) 野中 利瀬弘



地域資源の活用をメインテーマとしています。

スマホなどの様々な身近な製品は、使用目的を果たした後、廃棄物となります。この中には、日本国内では取れない貴重な金属が多く含まれています。我々の研究室では、化学反応を利用し、この中に含まれている様々な成分の中から、有用な金属を効率よく分離・回収するためのリサイクルプロセスの開発を行っています。

ちなみに、最近のトピックスは、「温泉」です。通常廃棄されている温泉の泥には、一枚一枚剥がれるミルフィーユのような層状の鉱物(マイカ)が、1/3000ミリメートル以下のレベルで含まれています。ファンデーションや泥パックなどの化粧品にも活用されている、この小さな鉱物たちを分析し、秋田の地域資源の一つとして再活用するためのプロセスの研究に、一緒に取り組んでみませんか？



土木・建築系

土木・建築系では、橋、道路、鉄道、公園などの建設や、都市の計画、建築物の設計の仕事をしたいと考えている学生が勉強しています。



みんなが安心して
生活できるような都市を創ろう！

空間デザインコース

国土防災システムデザインコース

みんなが安心して生活できる都市を造るためには、建物や都市のデザイン、橋やトンネルの整備、津波や地震による被害防止、自然環境の保持、室内を快適に保つ室内環境など、建築・土木の分野にかかわらず多くの事を学ぶ必要があります。土木・建築系では、4年生で空間デザインコース、国土防災システムコースに分かれますが、どちらのコースも土木・建築どちらの分野に偏ることなく、全体をバランス良く学べるカリキュラムとなっています。

●土木・建築共通

- ▶ 都建築材料学、構造力学、コンクリート構造学
- ▶ 鉄筋コンクリート工学、鋼構造学、建設施工
- ▶ 土木・建築系実験実習Ⅰ・Ⅱ
- ▶ 測量学Ⅰ・Ⅱ、測量実習Ⅰ・Ⅱ 等

●土木分野

- ▶ 建都市計画、交通システム工学、水理学、上下水道工学
- ▶ 土質力学、地盤工学、都市環境工学、環境アセスメント 等

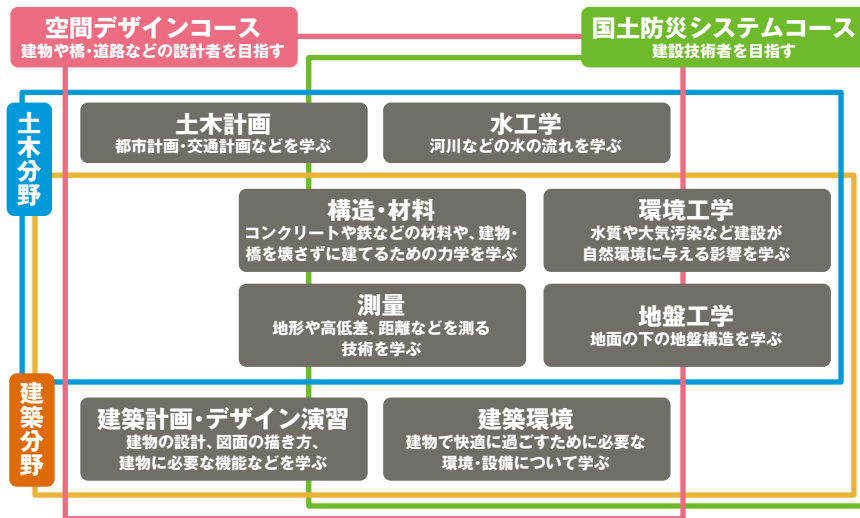
●建築分野

- ▶ 建築デザイン演習Ⅰ～Ⅴ、空間デザイン演習Ⅰ～Ⅲ
- ▶ 建築計画Ⅰ・Ⅱ、建築環境工学、建築設備、建築法規 等





- ①土地や地形を測る「測量」実習では最先端のドローン操縦やICT建設機械の自動操縦も体験するよ！
その他にも座学で勉強した「水の力」「水質」「コンクリートや地盤の強さ」を実験でより深く理解するんだ。
- ②最初は手書きでしっかりとした線を描くことから始め、CADや3Dモデルを使った本格的な建築デザインができるようになるよ！
- ③下水処理水を活用した酒米作りから、建築物の設計やまちづくりまで、「幅広く」「深い」研究に取り組んでいるよ！



時間割 ▶ 土木・建築系2年生の場合

	月	火	水	木	金
1 8:50~9:35	建築デザイン 演習Ⅰ	英語Ⅱ A	ライフ & アース サイエンス	物理Ⅰ	数学Ⅱ A
2 9:35~10:20					
3 10:30~11:15	英語Ⅱ B	地理	化学Ⅱ	数学Ⅱ A	芸術Ⅱ
4 11:15~12:00					
昼休み					
5 12:50~13:35	基礎測量学	公共社会Ⅱ	数学Ⅱ B	英語Ⅱ A	保健体育Ⅱ
6 13:35~14:20					
7 14:30~15:15			特別活動		
8 15:15~16:00	測量実習Ⅰ		2年英語ゼミ		

将来何になれる？

土木・建築系は、土木系、建築系双方の資格が取得可能な全国の大学、高専の中でも非常にユニークな特長を持つ系です。

そのため、卒業後に建築・土木どちらの分野に進むことが可能です。

就職先には、建設会社、公務員、土木設計、建築設計、鉄道、電力、高速道路、建築設備、住宅・不動産、測量・環境アセスメントなど多様な業種があります。

建設全般に関わる幅広い分野に就職・進学できるため、景気や社会動向の変化に影響を受けにくく、学生本人の希望に沿った就職・進学が可能です。

▼取得可能な資格

- ▶ 一級建築士…卒業年に受験資格。
合格前後で実務経験4年が必要
- ▶ 二級建築士…卒業年に受験資格。
合格と同年に免許登録可能
- ▶ 技術士…7年を超える実務経験、または技術士補として指導技術士の下で4年を超える実務経験により受験資格
- ▶ 技術士補…在学中に受験可能
- ▶ 測量士…測量士補として3年以上の実務経験後取得
- ▶ 測量士補…卒業後に申請により取得
- ▶ 一級土木施工管理技士…在学中に受験可能
(第1次検定)

※他に実務経験・第2次検定合格が必要です。土木以外(建築・造園・電気工事・管工事・電気通信工事)の各種施工管理技士についても同様です。

研究紹介

土木・建築系 空間デザインコース

教授 博士(工学) 一級建築士 井上 誠

芸術工学(デザイン)を学び、一級建築士として実務経験のある教員が指導

研究目的

建築設計・まちづくりの人材育成による地域及び社会貢献

研究対象

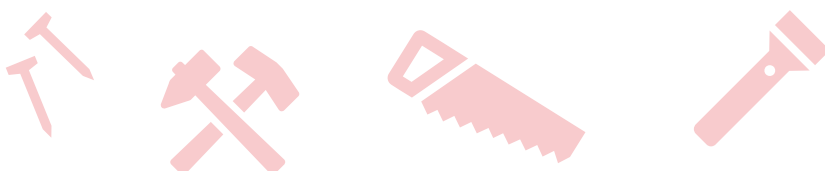
建築物や公園緑地の設計、キャンパスや地域の計画、及びそれらに関するデザイン支援

特徴

室内～建物～敷地～周辺地域～都市に至る環境を一体として計画設計

研究事例

土崎港曳山まつりの山車位置がリアルタイムに分かるウェブマップ「ひきやまっぶ」の実証実験をしました。



専攻科で学べることは？

専攻科 グローバル地域創生工学専攻

本科(5年間)卒業後に進学できるシステムです。

専攻科では各コースの研究室に配属され、2年間の研究を通して専門性をさらに高めることが出来ます。研究成果は学会で発表する機会があります。



専門分野をもっと深く、

もっと広く探求します！

カリキュラム

本科を卒業後、さらに専門分野を学ぶことができます。

2年間の専攻科修了後は、大学卒業時と同じ学士(工学)の学位が取得でき、大学院の受験が可能となります。

●一般科目

- ▶ 応用英語
- ▶ 情報数学
- ▶ 地域産業・経済・文化
- ▶ 熱・統計力学
- ▶ 電磁気学
- ▶ 物理数学 など

●専門共通科目

- ▶ 機械工学概論(総論)
- ▶ 電気情報工学概論(総論)
- ▶ 物質工学概論(総論)
- ▶ 建設工学概論(総論)

●演習実習科目

- ▶ 創造工学演習
- ▶ PBL工学演習

●関連専門科目

- ▶ 精密加工学
- ▶ メカトロニクス
- ▶ 画像処理工学
- ▶ 応用電磁気
- ▶ 高分子物性論
- ▶ 無機・分析化学基礎
- ▶ 防災システム工学
- ▶ 環境緑化保全工学 など

●コース専門科目

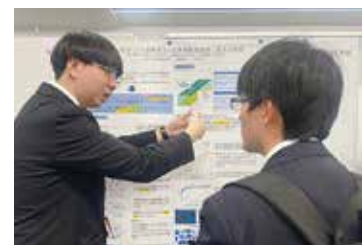
- ▶ 振動工学特論
- ▶ エネルギー変換工学特論
- ▶ 反応工学特論
- ▶ 有機合成化学特論
- ▶ 地盤工学特論
- ▶ 環境地域計画学特論 など

●特別研究

- ▶ 地域課題解決型特別研究
- ▶ 国際・企業連携型特別研究
- ▶ 一般特別研究



特別研究発表



学会発表

教育理念

グローバル地域創生工学専攻は、急激な社会構造に同調でき、地域との連携活動を発展させた、より具体的・可視化した教育プログラムによって、グローバルな視点を持ちローカルな場での実践や影響力を発揮する高度な技術者等の人材を育成する。

グローバル地域創生工学専攻の求める人材像

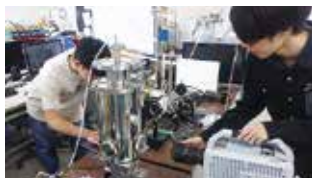
- ①基礎専門学力を有し、実践的技術を支える先端知識を融合し、境界領域のこれまで未到達の技術をデザインすることに意欲のある人
- ②社会の急激な変化に追従できるだけでなく地域社会のパラダイムシフトを創出することに意欲のある挑戦するマインドを備えた人
- ③地域のオープンイノベーション創出へ接続できる志向を有する人



本校専攻科1年生が国際学会のリサーチプレゼンテーションにて優秀発表賞を受賞

専攻科(2年間)グローバル地域創生工学専攻

異分野の技術との融合にもチームとして果敢に挑戦し、境界領域における国際的な研究・開発能力によって地域創成に貢献するイノベティブな技術者を目指します。



機械工学コース

本科課程の機械システムコースと知能機械コースにおいて修得した専門能力と、専攻科における一般科目を基盤とし、他コースの基礎概念を融合した上で、新たな機械システムや知能機械等の開発・製造ならびに应用技術等に深く関わる専門科目を学びます。



電気情報工学コース

本科課程の電気・電子・情報系、電気エネルギーシステムコースと情報・通信ネットワークコースにおいて修得した専門能力と、専攻科における一般科目を基盤とし、他コースの基礎概念を融合した上で、ICTを駆使した先端デバイスによる電気機器システムならびに应用技術等に深く関わる専門科目を学びます



物質工学コース

本科課程の物質・生物系、マテリアル・プロセス工学コースとバイオ・アグリ工学コースにおいて修得した専門能力と、専攻科における物理学、数学等の基礎科目、リベラルアーツを基盤とし、他コースの基礎概念を融合した上で、新物質・生体由来素材等の製造ならびに应用技術等に深く関わる専門科目を学びます。



建設工学コース

本科課程の土木・建築系、国土防災システムコースまたは空間デザインコースにおいて修得した専門能力と、専攻科における一般科目を基盤とし、他コースの基礎概念を融合した上で、社会基盤の整備・防災・保全技術、都市および地域の計画・デザイン技術等に深く関わる専門科目を学びます。

時間割 ▶ 専攻科(1年生)の場合 ※同じ科目が1年生でも2年生でも選択できます

	月	火	水	木	金
1	8:50~9:35	高速流体力学特論 反応工学特論	電気情報工学総論	応用英語Ⅰ	建設工学概論
2	9:35~10:20				
3	10:30~11:15	力学	情報理論特論 有機合成化学特論	熱・統計力学	エネルギー変換工学特論
4	11:15~12:00				
				地盤工学特論	構造力学特論
5	12:50~13:35	機械工学概論	情報数学	創造工学演習基礎	微生物工学特論
6	13:35~14:20				
7	14:30~15:15	特別研究	特別研究	特別研究	特別研究
8	15:15~16:00				
					物質工学概論

時間割 ▶ 専攻科(2年生)の場合

	月	火	水	木	金
1	8:50~9:35	高速流体力学特論 反応工学特論	固体材料工学	補講	高分子物性論
2	9:35~10:20				
3	10:30~11:15	メカトロニクス	情報理論特論 有機合成化学特論	生産システム工学	エネルギー変換工学特論
4	11:15~12:00				
				地盤工学特論	構造力学特論
5	12:50~13:35	応用英語Ⅲ	応用電磁気 防災システム	創造工学演習	微生物工学特論
6	13:35~14:20				
7	14:30~15:15	特別研究	特別研究	特別研究	電気化学の基礎
8	15:15~16:00				

クラブ活動



陸上競技部



柔道部



テニス部



電気部



図芸科学同好会



バスケットボール部(女子)



剣道部



ハンドボール部



写真部



地域連携活性化研究会



バスケットボール部(男子)



サッカー部



合気道部



吹奏楽部



ダンス同好会



バレーボール部(男子)



硬式野球部



少林寺拳法部



茶道部



eスポーツ同好会



バレーボール部(女子)



水泳部



バドミントン部



航空宇宙研究会



ソフトテニス部



ラグビーフットボール部



電気自動車部



軽音楽同好会



卓球部



山岳部



囲碁将棋部



萬画研究同好会

様々な活動で充実した高専生活を送っています!!

スポーツ系19団体・文化系7団体・同好会6団体の
合計32団体が活動中!!

各種コンテスト



ロボットコンテスト

毎年開催される高専ロボコンにて全国大会を目指して活動しています。ロボットは機構設計、電子回路、制御プログラムと加工の4分野の知力の集合体です。工学系の“ものづくり”の基礎知識を応用して、チームのメンバーが一丸となって、この世に一台しかないオリジナルなロボットを創作しています。



プログラミングコンテスト

全国の高専生と海外から招待された大学生が参加し、パズルのような問題をプログラムによって解く競技部門、作品の制作・発表を行う課題、自由部門の3つの部門で構成されています。本校では主に競技部門に参加し、入賞を目指して日々プログラミングスキルの向上に取り組んでいます。



デザインコンペティション

全国高専デザコンの構造・空間・創造・AMなど各部門の設計競技に向けた活動です。構造は橋や建物の模型を作り、強度、軽さやデザインを競います。空間は建物だけでなく都市、交通、土木構造物や情報空間を含めた生活環境のデザイン競技です。これら高専デザコンの他に各種建築設計コンペにも積極的に取り組みます。



英語プレゼンテーションコンテスト

シングル部門とチーム部門があり、それぞれ1つのテーマについて英語でプレゼンテーションを行います。普段、学校の授業以外で英語を“話す”機会はあまりありません。だからこそ大変なこともあります。英語を“話す”ことによって正しい発音、イントネーションなどを身につけることができ、このことは学校の英語の授業の中でも生きてきます。



学生会

中学校でいう生徒会です。学生たちが主体的に行事の企画や運営をしています。
※高専は大学と同じ高等教育機関のため「学生」と呼ばれます。



飛行ロボットコンテスト

秋田高専チームは、これまでに4連覇を達成している他、何度も上位入賞を果たしています。また、ベストデザイン賞等の特別賞も数多く受賞しています。この研究会では、将来技術者になる上で重要になる経験を積むことができるだけでなく、ものづくりの基礎について身を以て学ぶことができます。

キャンパスライフ

1年間の生活は
どんな感じ？

高専で過ごす5年間は、人生のうちで心身ともに最も成長する時期です。
そして、この間に温めた友情は生涯をととして変わらないものとなります。
学生が主体となって行う行事もあります。



4月

- ▶入学式 7日
- ▶始業式 8日
- ▶授業開始 9日
- ▶開校記念日 18日

5月

- ▶交通安全教室 8日
- ▶スポーツ大会 15日～16日

6月

- ▶到達度試験(前期中間) 4日～9日



7月

- ▶東北地区高専体育大会(予定) 4日～6日
- ▶保護者面談期間 13日～19日
- ▶到達度試験(前期末) 31日～8月6日

8月

- ▶オープンキャンパス 9日
- ▶夏季休業 9日～9月18日

9月

- ▶後期授業開始 本科5年 専攻科 29日
- 本科1～4年 30日



秋田高専Q&A

Q

高専にはどんな人が
向いていますか？

A

高専では、数学や理科の知識をもとにして工学に関する専門科目の授業や実験が進められます。このため、一般的には暗記力より理解力のある人、実験・実習の好きな人が向いているといえますが、何よりも将来、技術者になって大いに活躍したいという希望に燃えている人が一番です。

Q

授業内容について
説明してください。

A

授業には、大きく分けると、一般科目と専門科目があります。一般科目では高校で学ぶ科目の他に社会人として必要な教養を身につける科目とがあります。専門科目は、低学年での基礎教育にはじまり、高学年では大学と同じ教科書を使うなど高いレベルの知識を身につけていきます。また、5年生になると卒業研究があり、数名ずつに分かれて先生の個人指導を受けます。

Q

バイクによる通学、服装などの
規制はどうなっていますか？

A

原動機付自転車(バイク)による通学は、通学距離などの一定条件のもとに2年生から許可することがあります。服装については、学生らしい服装を着用することとし、私服での登校も可能です。しかし、このような自由さだけにあこがれて入学すると、自分を見失うことがあります。本校は、技術者をめざして勉強する学校であることを忘れないで欲しいと思います。



10月

- ▶ 高専祭
25日～26日
- ▶ 進学ガイダンス
26日

11月

- ▶ 4 学年工場
見学旅行(予定)
5日～7日

12月

- ▶ 到達度試験(後中間)
1日～4日
- ▶ 冬季休業
27日～1月5日

1月

- ▶ 授業開始
6日

2月

- ▶ 到達度試験(後期末)
4日～10日
- ▶ 卒業研究発表会
19日
- ▶ 学年末休業
26日～3月31日

3月

- ▶ 卒業式 14日



高専では留年する学生がいると聞いて心配しています。

A 残念ながら、本校でもわずかながら留年する人がいます。その理由はいろいろありますが、中学時代のペースで勉強していて授業についていけなくなったり、遊びや趣味に夢中になって勉強意欲を失ってしまうことなどです。入学時の初心を忘れず、根気よく勉強する習慣を身に付けければ、留年する心配もなく、学業と課外活動を両立させた学生生活を楽しむことができますでしょう。



進路変更のため、高専在学中に大学を受験する事ができますか？

A 高専の3年を修了(修了見込みを含む)すれば、大学受験資格が得られます。また、1年や2年を修了しただけで退学した場合は、高等学校卒業程度認定試験によって、高専で修得できなかった科目の単位を修得することによって大学受験資格を得ることが出来ます。しかし、高専は5年間の一貫教育を目指す学校ですから、途中から大学へ進学することはあまり好ましくありません。



卒業後の進路について説明してください。

A 本校の卒業後の進路は、系によっても若干異なりますが就職する学生が約60%、進学する学生が約40%となっています。就職に関しては、大学と比較しても求人倍率が高く、ほとんどの学生が本人の希望する会社や官公庁に就職しています。一方、進学に関しては、本校の専攻科への進学と国公立大学の3年に編入しています。

充実した施設と 恵まれた環境





学生寮と 支援制度

学生寮は、県内外からの入学生に対して修学の便宜を図ることと、集団生活を通じた人格形成を目的とし設けられています。設立から50年余、これまでに、自立と共同の精神を養うため、多くの学生が寮生活を送ってきました。

2024年度は、本科生(1～5年生)、専攻科生、さらには諸外国(マレーシア、ブルネイ、ウガンダ、ラオス、タイ、モンゴル)からの留学生に、フランスからの短期留学生を交え、約130名の学生が生活を共にしてきました。また、女子寮(向日葵棟)も併設され、30名の女子寮生が、男子寮生と共に勉学と課外活動に励んできました。

寮の行事は、すべてが寮生による寮生会が中心となって企画・運営されています。主な行事は、寮祭、スポーツ大会、予餞会などで、これら行事を通した寮生相互の交流が図られています。また、5年生を対象としたテーブルマナー講習会もあり、青雲寮名物行事の一つとなっています。

学生寮の設備には食堂と浴室のほか、各棟に補食室があり、冷蔵庫と電子レンジ、食卓テーブルを用意しています。また各階の洗面所には、乾燥機と全自動洗濯機が設けられています。さらに各棟には交流スペースなど生活に快適な設備が設けられています。

なお、男子寮のうち1棟は改修工事を行い、2025年度からは国際寮として運用していきます。



寮の
窓からの
風景



女子寮居室



補食室



シャワーブース



シャワーブース

学生寮Q&A

**女子寮生のお風呂は？毎日の洗濯は？
詳しい設備が知りたい！**

女子棟には中浴室1室、シャワールーム3室、留学生用のユニットバス1室があります。また各階には洗濯機・乾燥機・乾燥室があって、いつでも自由に使うことができます。そして管理棟にはロビーや食堂、休養室もあります。

なお、女子棟は2022年度に改修工事が終了しており、以前より快適に過ごせるようになりました。

病気や怪我のときが不安…。

学生寮には宿日直が24時間常駐しています。急病など、緊急の処置が必要な場合には、近くにある総合病院までいつでも対応する体制が整っていますので安心ですよ。

**女子寮のセキュリティは
どうなっていますか？**

2019年度から、女子棟出入口にカードキー方式を導入しました。女子棟へはカードキーを持った女子寮生以外は入ることはできません。念のため、人感知型の防犯録画カメラも出入口に設置しています。また、女子棟周辺には常時点灯の街灯を設置してありますし、各階には緊急用の非常ベル、居室の窓には外部からの視線を遮るルーバーを設けています。開寮期間中は教員1名が宿直し、急病などへの緊急対応を行う体制が整っています。



	開 寮
4月	新入生入寮・入寮ガイダンス 寮生総会・新入寮生歓迎会 避難訓練
5月	早朝サッカー大会
6月	テーブルマナー講習会
7月	寮生保護者会 寮 祭
8月	閉 寮
9月	開 寮 寮長選挙
10月	避難訓練 寮生総会
	スポーツ大会
12月	予餞会 閉 寮
2026年1月	開 寮
2月	大掃除・部屋替え 閉 寮

居室は、下級生は原則として2人1部屋で、上級生は1人1部屋を使います。全寮生には勉強机と椅子、ベッドが貸与されます。学生寮での生活には様々なルールがありますが、共同生活を楽しみながら、人格形成に大いに役立っています。



玄関



男子寮居室



男子寮居室



食堂



補食室



学習室



男子寮のお風呂



洗濯室



自転車置場

所要経費

新入生のみなさんが、入学時に納付しなければならない経費はおおむね次の通りです。

入 学 料	84,600円
授業料(前期分) ※下記「高等学校就学支援金」制度を参照	117,300円
教 材 費(教科書・教材など年額)	約90,000円
日本スポーツ振興センター共済掛金	1,550円
学生会入会金	2,500円
学 生 会 費(前期分)	3,500円
後援会入会金	8,000円
後 援 会 費(前期分)	13,500円
合 計	約320,950円

※授業料等は在学中に改定されることがあります。

学生寮に入る場合は、さらに次の経費が必要となります。

寄 宿 料(月額)	700円(2人部屋) 800円(1人部屋)
入 寮 費(入寮時のみ)	3,000円
寮 費(月額)	17,940円
給 食 費(日額)	1,500円
寮生会入会金(入寮時のみ)	1,000円
寮 生 会 費(前期分)	2,500円

支援制度

学生一人ひとりが安心して学校生活を送れるように、さまざまな支援制度を設け、幅広くサポートします。

入学料免除制度

入学前1年以内において、学資を負担している者が死亡したり、または風水害などの災害を受けたりして入学料の納付が著しく困難であると認められる場合は、願出により選考の上、入学料を免除しています。

奨学制度

経済的理由により修学が困難な事情にあり、学業成績、人物ともにすぐれた学生のために日本学生支援機構や民間団体等の奨学制度があり、選考の上、奨学金が貸付・貸与されます。詳細は、日本学生支援機構や、下記民間団体等のHPをご確認ください。

また、4年生以上を対象とした「高等教育の修学支援新制度」は貸付型奨学金が一体となっています。こちらも詳細は、文部科学省と日本学生支援機構のHPをご確認ください。

日本学生支援機構HP <https://www.jasso.go.jp/>

文部科学省HP <https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

民間団体等の奨学制度で、本校に公募があるものは主に次のとおりです。

- 交通遺児育英会奨学金
- 開育英奨学会奨学金
- あしなが育英会奨学金
- 天野工業技術研究所奨学金
- ウシオ財団奨学金
- 川村育英会奨学金
- 上田記念財団奨学金
- 日鉄鉱業奨学会奨学金

高等学校等就学支援金

1年生から3年生まで、該当要件により対象になる場合は、授業料に充てる高等学校等就学支援金が支給されます。支給される場合は、保護者全員の「市町村民税所得割額+都道府県民税所得割額(保護者等合算額)」に応じて、月額9,900円、又は19,550円を授業料に充てるものとして支給されます。支給期間は、原則として通算36月です。なお、制度の変更により、対象及び支給額等が変更になることがあります。



独立行政法人国立高等専門学校機構

秋田工業高等専門学校

〒011-8511 秋田市飯島文京町1番1号
 TEL 018-847-6018(直通) FAX 018-847-0372
 Mailkyomu-dv@akita-nct.ac.jp

